

水俣上映の記録

中 沢 玲 子

一、上映決定

七月十八日、土浦の自然を守る会第二回総会に於て、記録映画「水俣―患者さんとその世界―」上映案提出。パンフレット、上映記録などの参考書類をもとにして説明があり、全員可決。私たちは水俣を速い他国のように思いたがる。その水俣を土浦に近づけること。事実を直視する勇気を持つこと。日時、入場料、宣伝方法等、論議を重ねて後、決定される。入場料は、入場者一人につき一〇〇円製作費として青林舎に還元しなければならず、市民会館貸料、ポスター、チラシ、税金、入場券印刷代等を見積りの結果、二〇〇円が大衆料金としてもぎりぎりの線ということになり、決定。

二、打合わせ会

七月十九日夜、第一回打合わせ会。

八月九日夜、会員招集、ポスター、チラシ、前売券の分担を決め、各自に配布。母の会、労組関係、市役所、英大関係、芳音、幼稚園、各サークル等、それと各個人、とりまとめて各会員に依託。

前売券

ポスター

解説書

チラシ

次の日より、各会員、前売券売却のため精力的にある

きまわった。

三、ピラマキ

九月一日、追加印刷した一〇〇〇枚のチラシを持って

午後二時より駅前

に於て通行人に手渡す。

四、上映当日

九月八日、晴れ

入場者数

ヒル二七七名

ヨル一二一名

計三九八名

二時三〇分より中性洗剤の映画、三時より水俣上映。

ヒルの部では、一時間も前から待っていて下さった方も

あり、殊に当日券の方々が一三〇名も来てくれて、一同

感激。子供連れの方が多いいせいもあって座席は満員。立

見の方も見受けられた。

不知火の海は、恐ろしい汚染など想像もできないほど

美しい。海は広いな大きいなと歌ってくれた良次君、後

ろ姿のさびしげなしのぶちゃん、天使のような子供たち

に汚れない美しい海を還してやりたい。今となつては、